

“歩いて楽しいみちづくり”

みんなで考えてみませんか？

～東武鎌ヶ谷駅西口地区の生活道路～



昭和30年代の東武鎌ヶ谷駅



現在の東武鎌ヶ谷駅西口

道路はかつて、生活のにぎわいをもった空間であり、地域の人々が井戸端会議に花を咲かせたり、学校が終わった子供たちが鬼ごっこ、チャンバラや石けりなどの遊びに夢中になっていた風景がそこかしこにありました。

道路が歩行者中心のにぎわい空間から車中心の空間へと移り変わってしまいました。

みなさんのまわりにある道路って…



私たちの地区の生活道路であるペアロード（駅前通り）は、道路幅が狭く、歩道も片側にしかありません。一部には歩道のない空間もあり、電柱も障害となっていて、高齢者やからだの不自由な方々、子供たち・誰もが安心して歩ける空間が確保されていません。

特に、朝や夕方などの通勤・通学時間帯は車の交通量が多く、歩行者・自転車・車が複雑に入り混じった危険な状態となっています。

“歩いて楽しいみちづくり”みんなで考えてみませんか？



このような状況を解消するために、この度、国土交通省が進めている、生活道路を現在の車中心から歩行者・自転車優先の空間に変える「**くらしのみちゾーン**」という施策に応募して、全国で42地区の1つとして、東武鎌ヶ谷駅西口地区が登録されました。

この地区では、歩行者の安全性や快適性を確保して、さらに環境や景観にも配慮しながら、身近な生活道路にしていきたいと思えます。

どこを考えていくの？



具体的な取組みを予定している範囲などは、裏面をご覧ください。

幹線道路等に囲まれる約4ヘクタールの区域の中にある市道について、考えていきたいと思えます。

こんなことを考えていきます！！

回覧

安心して歩ける街…



安全な歩行者空間の創出



ペアロード（駅前通り）をはじめ、幅の狭い生活道路の入口や出口に速度規制や一方通行といった交通規制を行い無用な車が進入してくることを防いだり、車が入ってきたとしても、車の通る幅を狭くしたり、曲げたり（クランク）、一部を盛り上げた構造（ハンプ）にして車の速度を抑えるなどの施策を検討し、身近な生活道路を歩行者・自転車が優先する安全な道路にしていきたいと考えています。

おしゃれでくつろげる街…



にぎわい空間の創出



地域のみなさんが楽しみながら買い物ができるよう、車道と一体となった段差のない歩道を整備したり、憩いの場としてのポケットパーク（小公園）・無電柱化・沿道の緑化・バリアフリー化などを進めながら、あわせて建物の配列や景観づくりについても検討していけば、おしゃれでくつろげる街を演出することも可能です。

これから始まります！！みなさんが主役です

今後、私たち住民と行政が協働して、社会実験などの調査を行い、概ね5年以内の実現を目指して取り組んでいきたいと思えます。

平成16年3月末まで

- ・地元組織立ち上げ
- ・課題、問題点などの整理

平成19年3月末まで

- ・道路整備の計画作成
- ・社会実験

平成20年3月末まで

- ・行政で具体的な整備

この「歩いて楽しいみちづくり」の試みは、まさに今、始まったばかりです。わたしたちのくらしに密着した道路の問題について、みんなで考えてみませんか？興味のある方は、ぜひ下記までご連絡ください。お待ちしております。



ご意見募集

地区内の道路の問題点、長所・短所など、皆様が日頃感じている思いを写真・文書等でお寄せください。



『(仮称)歩いて楽しいみちづくり鎌ヶ谷』(略称：ATM鎌ヶ谷)運営委員会

鎌ヶ谷駅前自治会
東武鎌ヶ谷駅前商店街振興組合
NPO法人KAO(カオ)の会

(連絡先) 東武鎌ヶ谷駅前商店街振興組合

住所： 鎌ヶ谷市道野辺中央 2-1-50

電話： 047-445-2777